

消化器内科研修(レジデント/フェロー)募集

知識と技術を身に付け、社会に貢献できる人材を育成いたします

20240530

後期研修医(レジデント):内科専門医制度に準じ、当院および関連施設で卒後3年~5年の研修を行います。
専攻医(フェロー):内科専門研修の終了後、卒後6年目~8年目に専門医取得を含む研修を行います。

内科専門研修に並行し、消化器領域のサブスペシャルティの専門研修を行うことができます。

消化管 肝臓 胆膵 化学療法

当院は、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会の指導施設となっています。研修は原則、4つの専門グループをローテートし、集中してそれぞれの専門領域を学ぶことができます。(内視鏡手技は通年で指導が受けられます。)



各領域の専門医が安全性や品質に十分に配慮し、指導を行います。特に、ESDやERCPなどの内視鏡治療の指導医は、ハイボリュームセンターや大学などの専門施設で教育を受けたり、指導を行った経験があります。



Model practice



GS/ESD

豊富な救急疾患を経験できます。
救急車の受け入れは東京都1位
消化管出血の受け入れは東京都1位です。

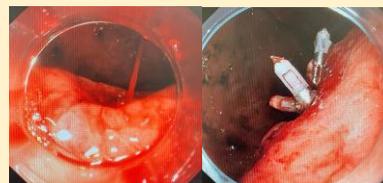
24時間365日休みなく、消化管出血、胆道疾患、膵炎など、消化器の緊急疾患を受け入れています。

休日夜間を問わず、必ず上級医と相談できる体制となっているため、安全かつ安心して研修することができます。

土日は完全当番制ですので、休日や自己研鑽の時間を持つことができます。

●消化管止血術件数(上・下部止血術、EVLの総和)

年度	2021	2022	2023
件数	252	270	280



Newsweek誌の選ぶ『World's Best Specialized Hospitals 2024』世界80位!

当院はNewsweek誌が選ぶ『World's Best Hospitals 2024』にランキングされましたが、消化器内科部門単独でも、連続で世界80位(日本では、東大病院、京大病院に続き3位)にランクインされました。日々、真摯に医療に取り組んでおります。

リサーチマインドの育成を大切にしています。

症例報告のみならず、希望者には臨床研究にも携わり、国内・国際学会での発表や、論文作成の機会もあります。また、順天堂大学大学院医学研究科と連携した学位取得の制度もあり、希望者は入学することもできます。

研修終了後の進路について提案します。

当科のレジデントやフェローは、当院の初期研修の出身よりも、他施設の出身の方のほうが多いです。当然ですが、出身病院による指導の差は全くありませんので、ご安心ください。

後期研修の開始時に、大学院入学や入局を決めている方もいますが、多くは、レジデント終了後の進路が決まいません。研修終了後は、当院でフェローやスタッフとして診療を継続、大学院進学、ハイボリュームセンターでの研修、大学の医局入局など、様々なところで活躍しています。進路に関する相談、紹介も積極的に行っております。

研修の感想 A先生(レジデント3年目)

私はレジデント1年目から当科に所属し診療にあたっています。当科は都内トップクラスの緊急内視鏡件数があり、豊富な症例を経験できます。また、各分野のエキスパートの先生方から指導を受けることができ、日々新たな成長を実感できる環境です。

研修内容などのお問い合わせ:
国際医療研究センター病院
消化器内科 山本夏代 宛
natsuyoy0616+ncgmgastr@gmail.com